

ああ・・・一月も終わってしまう。めちゃ忙しかったこの一月。

2006年

流しました。あいにく朝のうちに薄曇りで初日の出は拝見することできませんでしたが

す。はじめてみた日本人の剣道に次のように感想を述べて頂き

平成十八年の新春に寄せて

群劍連高崎支部長 橋本 貞治

明けましておめでとうございます。平成十八年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。



にも多くの父兄貴族様の御葉を頂く盛大に
賑々しく開催できました。これからも支部発展の為に一層ご尽力をお願い
いたします。

近年、少子化や青少年のスポーツ離れで特に若者の剣道人口が減少し危惧されております。このような中若年層の凶悪な犯罪が勃発し一般社会でも安心や安全が喪失し大きな社会問題となっています。今こそ剣道を通じて思いやりや人の痛みのわかる青少年の健全育成は勿論のこと、模範となりうる良き剣道人としての人造りに努めるべきだと思います。

全剣連では剣道の理念を「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」と定義づけ、又修練の心情えとして「剣道を正しく真剣に学び、心身を鍛磨して旺盛なる気力を養い、剣道の特性を通じて礼節を尊び、信義を重んじ誠を尽くして、常に自己の修養に努め、以て国家社会を愛して広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである」と理念と修練の心構えを掲げ、私達剣道を学ぶ者の目指すべき指針を明示しています。しかしややもすると打った打たれた、勝った負けたの勝負一辺倒の勝利至上主義に成っているのが現状のように思われます。

私達はこの指針に従て劍の理法を研究し率先垂範し修業鍛錬に努めるべき時と思っております。

年頭にあたり、一人でも多くの方々が剣道の本質や目的を認識して剣道発展の為に尽くして頂きたいと思います。

皆様のご多幸と更なる活躍を御祈念いたします。



暮帳のなかで、一年の総額を算う支部のみなさん

ブティイは時の
スケデュール
を狂わせてし
まいます。・・
なにをつまら
ぬことをとい
やいや反省。
さて平成十
八年元旦、一
年の計を懸け
る剣士の皆さん
の素顔だけはお
伝えしなければ
ならない。

このされやかな汗がまた剣道の一年の始まりを肌を通じて心の中に囁いてくれました。

この日、道場の片隅でお肌の白いお嬢さんがじつと皆さんのお嬢さんと皆さんの剣道に見入つておりました。エイミーさんというお名前のイギリスのお嬢さん。武道館で通う秋骨先生

As this was
play Kendo I
discipline a
throughout t
perhaps the
I am sure th
be as profess
return home
this and beco
today.

面白いものだと思いまし
た。稽古中に見られるそ
の規則正しさと正確さが
最も印象的でした。イギ
リスでの剣道はこれほど
本格的ではないでしよう。
でも帰つたら剣道を続け
て今日見た人達のように
上手になりたいと思いま
した。”遠い異国之地で
世代を超えて日本の剣道
が伝えられているんですね。
そういうえばこの元
旦稽古には親子剣道家の
稽古がよく見られます。
ことしも数組の親子剣道
が見られました。こうし

で親から子へそして孫輩へ着実に剣道が伝えられていくれば本当に最高と思ひます。



はるほるブリテン船長エイミーさん

一月二日、恒例の高崎商業高校剣道部OB会稽古会に押しかけました。筆者は当校の卒業生ではありませんが何回もこの稽古会に参加をさせて頂いております。参加の度にその歴史の深さと世代間の交流そして継続を感じます。

じさせられます。商都高崎の数々の名あきんどを輩出した高崎商業高校とが、こと高崎の剣道界に触れても翠らん高商と双峰を成す高商だ。剣道支部活動もこの両校の先輩方により担われていると言つていいだろう。



道場の上座のもとには支部活動の基盤はおろか群馬県剣道の躍進にご尽力をされれた故古閥幸平先生のお写真が飾られ、いまもかわいい後輩達の活躍を見守つております。

商剣道部は平成十四年に高商百周年記念に合わせ剣道部式典も開催され何十年レベルでの母校剣

代表で出場、そして戦後も数々の輝かしい活躍を記しております。また高商剣道部は平成十四年には高商百周年記念に合わせ剣道部式典も開催され何十年レベルでの母校剣

平成17年度審査会 第2回 1級審査会 ★全員が合格★

1月15日武道館で平成17年度第2回目の剣道1級審査会が開催されました。中学生や小学生24名が挑戦しました。剣道1級は初段審査の登竜門だ。どうしてもクリアしないと初段に挑戦できません。しかしここで審査ごとに慣れていない子どもたち。緊張につぐ緊張だ。1級審査会まずは剣道らしく振る舞えるかどうかがポイントだ。そのらしくまずは発声だ。普段出ているはずの大きな声も注目的となるといざシエン。大きな声が出るかでないかで見栄えが全然違います。元気のない子も若干見うけられたが何とからしく振る舞うことができたようです。全員合格だ。さー今度は初段に挑戦です。もっともっと鍛錬だ。初段の門は堅く重いんですからね。



群馬先生の立ち会いのもと、アッサリと合格した

擊劍タカショウ復活を祈って

恒例正月稽古会四十余名のOB・OG集う。



向上やまむ撫心等が心一つに励むなる わが学び舎の尊さよ... 剣道高商OB・OGのみなさん

校に群馬国中等学校剣道部は明治四十二年に創部され昭和十二年には全国に群馬

約四十人の中には元顧問の谷勝彦（教士八段）先生も参加され”生涯剣道”的な高商OBの故古閥幸平先生は、高崎市は勿論のこと県内この高商剣道部は明治四十二年に創部され昭和十二年には全国に群馬

”生涯剣道”を唱えた高商OBの故古閥幸平先生は、高崎市は勿論のこと県内この高商剣道部は明治四十二年に創部され昭和十二年には全国に群馬

もと和氣あいあいの世代交流の稽古会となりました。又師弟の間柄である谷先生と中田勝巳君（昨年の全日本選手権群馬代表）との立ち合いは、白眉に迫るものがあり感動しました。ただ現役の部員がたつたの四人とは、正直寂しく思いましたが、みんな礼儀正しく、きびきびした動作、そしてなにより綺麗に整理整頓された道場を見て大変感心させられました。これも去年四月からOBもある根岸信義君が顧問になつての日頃の熱心な指導のたまもので、まさに”古豪復活”は間近しと確信します。いちOBとして大変期待をしております。

来年もOB・OGのみならず多くの剣士が”生涯

剣道”を目指し、この一月二日待をしておりま

生涯剣道



義子ゼエール：根岸父子

当面の行事予定

群馬武道館 ◯二月十八日 八段研修会
群馬県予選会 ◯二月十九日 都道府会・市武道館 ◯二月二十一日 初一段審査会 同
群馬武道館 ◯三月二十五日 五段練習会
群馬県予選会 ◯三月二七日 東日本中学校選抜剣道大会・群馬アリーナ

新しい年を迎えてアツという一ヶ月。練事繁忙の一ヶ月。会報発信も大変遅れてしましましたが、これから新たな道へ進みます。剣道界もこれまでの隣人が仲間として多く加わってきます。剣道普及のために新しい仲間と知恵を振り絞つて行きましょう。広報上條